

G-MECCA

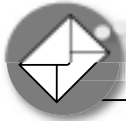
GIFU METAL ENGINEERING COMMUNITY COOPERATIVE ASSOCIATION

金属団地ニュース

2007.6.18 No.393



岐阜県金属工業団地協同組合



第46期通常総会開催

第46期通常総会が5月25日(金)2時30分からG-MECCA(組合研修センター)3階集会場で開催されました。

本総会は、今井理事長を議長に選出し、第1号より第8号までの議案が順次上程され満場一致で可決承認されました。



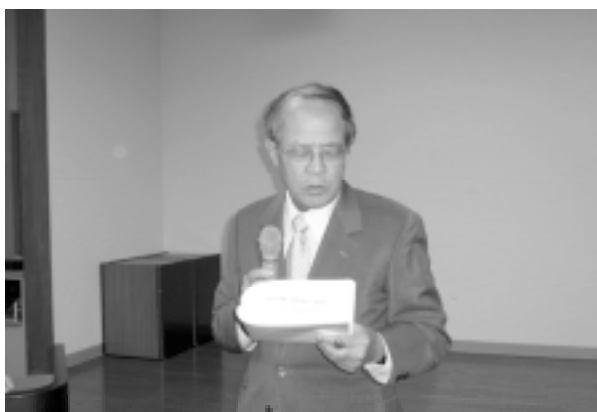
議長の今井理事長



小沢事務局長より説明



総会風景



下村監事による監査報告

4月1日より新組合法が施行され、監事の職務も従来の会計監査に業務監査が加わりました。下村監事も新組合法施行後初めての監査報告に緊張気味で、報告後は少々疲れた様子でした。大役、ご苦労さまでした。

また第46期通常総会懇親会は、午後5時30分より会場を岐阜都ホテルに移し、来賓の方を多数お迎えし盛大に開催いたしました。今井理事長の挨拶に続き、ご来賓より各務原市長 森真様、岐阜県中小企業団体中央会会長 辻正様よりご祝辞を賜り、各務原商工会議所会頭 星野鉄夫様の乾杯のご発声により懇親パーティーに入り和やかに懇談し親睦の和を広げました。午後7時を過ぎた頃に、商工中金岐阜支店長 長谷川昌和様による中締めにより懇親会は終了しました。



お客様をお出迎え



懇親会の始まりです



森市長のご祝辞



辻会長によるご祝辞



司会を務めます
事務局の小沢です



星野会頭による乾杯のご発声



長谷川支店長による三本締め

第46期通常総会懇親会御席表

(敬称略・順不同)

正面

独立行政法人 雇用・能力開発機構
東海職業能力開発大学校
校長 野村 宏之

各務原市議会
議長 古田 澄信

衆議院議員
武藤 容治

各務原市長
森 真

商工組合中央金庫岐阜支店
支店長 長谷川昌和

岐阜信用金庫
専務理事 三宅 正哉

独立行政法人
雇用・能力開発機構岐阜センター
統括所長 山本 薫

岐阜県国際情報科学芸術アカデミー
学長 横山 正

岐阜県議会議員
足立 勝利

岐阜県議会議員
伊藤 正博

岐阜県可児工業団地協同組合
理事長 加藤 千雄

株式会社十六銀行
専務取締役 堀江 博海

岐阜県情報技術研究所
所長 丹羽 義典

岐阜県機械材料研究所
所長 石橋 芳直

岐阜県議会議員
松岡 正人

岐阜県中小企業団体中央会
会長 辻 正

川崎岐阜協同組合
理事長 福西 紀雄

各務原市産業部
産業政策室長 亀井 敏之

各務原市産業部
部長 岡部 秀夫

(社)各務原シルバー人材センター
理事長 澤野 美得

岐阜県産業労働部中小企業課
課長 伊藤 誠紀

各務原商工会議所
会頭 星野 鉄夫

内木会計事務所
税理士 内木 一博

各務原商工会議所
専務理事 前田 勝則

金属団地副理事長
和田工業(株)
和田 勝博

金属団地理事長
今井航空機器工業(株)
今井 哲夫

金属団地副理事長
三星工業(株)
岩 井 章

MTK(株)
松原 伸五

(株)チカタン
山本 隆一

川崎岐阜協同組合
専務理事 市原 敬夫

岐阜県可児工業団地協同組合
専務理事 藤岡 正迪

(株)鶴飼
柳原 弘

(株)常盤電機
林 健三

(株)岐阜中川製作所
岡野 嘉邦

(株)共和鋳造所
鳥山 雄夫

(株)サクラダ工業
横山 清進

(株)鶴飼
柳原 幸一

岐阜信用金庫各務原支店
支店長 北河 博美

商工組合中央金庫岐阜支店
次長 落合 清弘

和田工業(株)
和田 茂

徳田工業(株)
徳田 周作

(株)亀山鉄工所
高井 紘司

(株)ミヤナガ
宮永恒良

(株)イーグル
鷺見 仙次

(株)常盤電機
林 伸太郎

(株)十六銀行各務原支店
支店長 松岡 育宏

大垣信用金庫各務原支店
マネージャー 棚橋 隆人

(株)杉山
大野 文雄

(株)森田木型
森田 利夫

(株)日伸歯車工業
鬼頭 作夫

(株)津田工業
津田 雅美

華陽自動車興業(株)
山田 昌夫

東海ダイカスト工業(株)
下村 俊介

金属団地常任理事
中部アルミ工業(株)
齊田 裕明

(株)岐阜銀行各務原支店
支店長 北 牧 淳

(株)山村製作所
山村 修一

(株)秋田鉄工
秋田 耕平

(株)高橋鉄工所
高橋 敬治

(株)中部製作所
田中 満

(株)美濃工業
川瀬 弘嗣

(株)高橋鋳造所
高橋 敏博

常盤工業(株)
山内 宏泰

高岡鋳造(株)
福田 幹雄

(株)ダイニチ
下村 尚之

組合業務課長
武野 靖

組合事務局長
小沢 章博

三島精器(株)
三島 繁樹

(株)藤澤鐵工所
藤澤 正治

中日本ダイカスト工業(株)
真野 敏

組合総務主任
林 敏幸

高岡鋳造(株)
高岡 洋子

田中プレス工業(株)
田中 良卓

徳田工業(株)
徳田 弘司

中日鋼線(株)
林 宏守

共設機械精工
貝川 正幸

組合事務局長
上村 博紀

伊藤鋼業(株)
伊藤 千佳子

東洋システム(株)
安田 勝彦

丸嘉工業(株)
土田 貴史

信栄ゴム工業(株)
小栗 國男

(株)ミナックス
清水 隆雅

組合事務局
森 加奈恵

(株)今井製作所
林 恵美子

ホラク、工業(株)
洞田オサム

(株)津田工業(青年部)
津田 義久

(株)東海パウテックス
西田 俊一

(株)マルエイ(青年部)
永田 保

組合事務局
赤座 玲子

(株)日伸歯車工業(青年部)
鬼頭 泰夫

高岡鋳造(株)(青年部)
高岡 功治

(株)森田木型(青年部)
森田 浩明

常盤工業(株)(青年部)
山内 寛明

和気あいあい 懇親会風景



「市長、一杯どうやな？」



「今日はありがとうございます」



「何の相談？」



青年部も参加しています



金屏風の前で「ハイ、チーズ！」



「難しい話？」



「おい、そろそろ行くか！」◀

記念ゴルフを終えて▶

翌日には、総会記念ゴルフが岐阜北カントリー倶楽部にて、24名の参加を得て開催されました。前日の雨とは一転、暑い程の快晴に中国方面からの黄砂のおまけ付というゴルフ日和に恵まれました。集計はダブルペリア方式により、三島繁樹氏が優勝されました。おめでとうございます。



今井理事長、山内理事が組合功労者表彰を受賞 (岐阜県中小企業団体中央会)

5月28日(月)に開催された、岐阜県中小企業団体中央会第52回通常総会において、当組合の役員として長年にわたり組合運営に尽くし金属団地の発展に貢献したことに對し、今井哲夫様(今井航空機器工業)と山内宏泰様(常盤工業)が組合功労者として、岐阜県中小企業団体中央会会長より表彰を受けられました。今後とも更に組合運営に尽力されることを祈念します。

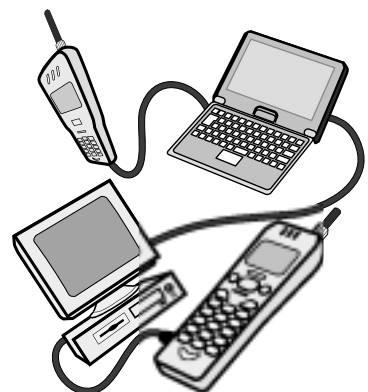


正直者にもっと光を

夢追い人

正直者がバカを見る、本当にいやな世の中になった。汗水流して働く者よりパソコンの画面と睨めっこしている奴の方が日本、いや、世界の経済を動かしていると言っても過言ではないと考えさせられる。誤解されるといけないので前もってお断りしておきますが、最近ではほとんどの人がパソコンとお友達だと思う。本当に便利でなんでも出来る。携帯電話とパソコンがサラリーマンの必需品。最近では数億円の配当になって話題のサッカーくじがインターネットで混雑緩和のために販売され利用された方も……レジャー情報も簡単に入手出来たり、欲しい物がなんでも家において買えたり、今この二品が世の中から消えたら、なんて考えられないほど生活に密着している。こういう使い方なら便利な道具だがそんな用途の他にパソコンで株の売買が簡単に出来、学生が一般社会人より収入が多かったり何てことも当たり前の様に言われる。

こんな時代だからなんでもありなのか、数年前から物造りの原材料までもが投機の対象になり、売り上げを借金してもそのお金で十分な材料も買えずとうとう工場を閉鎖されたり、そんなバカなと思うけど現実工場で汗水流して物造りするより、毎日画面に向かって騰がれ騰がれと汗も流さずまるでゲーム感覚で対象物の価格を吊り上げ、その行為がどんな影響を与えるかなど我関せず。こんなことが許されているのだろうか。なんにも知らずに一生懸命コストダウンを朝から晩までそれこそ寝る間も惜しんで模索し、なんとかこれならお得意様に満足してもらい従業員の生活も最低限確保出来ると見積書を片手に得意先回り。ところが会社に戻ってみると何枚かの見積書と来客が、またまた材料の値上げ話。昨年の11月頃からこんな事の繰り返しで得意先にその都度値上げなんて出来ないし、赤字覚悟で操業。年を越しても値上げは止まる事無く、痺れをきらし組合で話し合い、もうこれ以上待てないこんなバカなことはいつまでも続かないがこのままでは我々が続かないと値上げを決定。国際競争の時代得意先も値上げがままにならず、値上げにいく都度「君らはいいなー、よう儲かってるやろ羨ましいよ」なんてよく言われるが実情は操業するのに必死で何処にこの怒りをぶつけたらいいのか？それにいまま材料の値上げは止まらず、このままいくと物造りは世の中から消える定めかなと本気で考えさせられます。なんでもありの世の中、でも物造りの原料分ぐらい投機の対象から外し国内の生産者の分だけでも法律で保護してよ、お願い。お願いなんて思うのは小生だけかな？やはり金儲けは汗水流したものにだけ光が……なんてのはもう古いのかも





青年部情報交換会

5月15日(火) 12:00から研修センター小会議室にて青年部情報交換会が行われました。

事前テーマなしで開催される情報交換会は、役員会での活動報告や近況報告の場として青年部会員の団結力を高めるのに有効な場と認識しております。

さて、今回の情報交換会では主に労務委員会からの協力要請の件と、研修旅行の件について話し合いがなされました。

労務委員会からの協力要請の件は、ソフトバレー等の組合行事が廃止された現状に団地内に勤務する従業員さんへの福祉事業として『ナゴヤドームでのナイター観戦』を企画し運営のお手伝いをさせて頂く件で、時間、人数、参加費用やお楽しみイベントに至るまで青年部ならではの提案が多数出来たものと思われました。

研修旅行の件では、昨年の海外研修での収穫が多かった影響より今年度も海外での研修事業を希望する会員が圧倒的に多く、具体的には理事長のタイ工場での研修を希望する等、研修事業を前向きに熱く語り合う頼もしい姿に組合の未来は安心出来るものと確信しました。

今後もこの情報交換会は、青年部活動の活性化と会員相互の親睦を図る有効な会として定期的に継続して行きたいと考えます。

金属団地定時総会懇親会と 総会記念ゴルフに参加

5月25日に行われた金属団地定時総会懇親会と26日に行われた記念ゴルフに参加いたしました。懇親会には8名、記念ゴルフには7名の参加となりました。

まずは懇親会。5時30分開始ということもあり、各社現場にいる青年部にはちょっと厳しい時間？でしたので、開始時間に数名の青年部会員が間に合いませんでしたことを、誌面をお借りしてお詫び申し上げます。遅れて来た分はここから取り戻すぞ！せっかく来たのだから、美味しいものをたらふく食べて…じゃありません、ひとりでも多くの方々への挨拶と会話が目的です。普段あまりお会いすることのない社長の面々、来賓として出席されている方々の中にも、自分の会社が現在お世話になっている方のお顔も数多くあります。座ってゆっくり食べている場合ではありません、いざ出陣！です。ビール片手に突然青年部が出現すると、大体初めは驚かれるのですが、すぐにビール(お酒)を注ぎあい、青年部活動へご理解ある温かい言葉を掛けていただく等、楽しく会話は進みました。今回、できるだけ皆様のテーブルをまわる努力をしたのですが、出席者多数のため、挨拶に伺えなかった方については、申し訳ございませんでした。また、このような機会があれば、色々お話を聞かせて下さい。

日は変わって記念ゴルフです。今回は青年部参加者7名と少なく思われるでしょうが、去年が4名で青年部3軍メンバー中心だったことを考えれば上出来か？青年部での優勝は横山慎二さんでした。おめでとうございました。ただ、記念ゴルフ全体(ダブルペリア方式)では、まだまだ親会の方々との実力差がスコア表に如実に表れ、練習不足と経験不足、何よりも外野のヤジに負けない強い精神力の不足を感じました。来年の記念ゴルフでは、この差を少しでも縮められるよう努力しますので、青年部がゴルフで家または会社を空けることがあっても、「またゴルフか!」と言わないで下さい、お願いします。





屋外展示場

和田工業株式会社

現在、私共が進めて居ります、山のエネルギーが「もったいない」を合言葉に木質チップを燃料にした温水ボイラーを展開しようとしています。

山の現状を見ますと、ツルが巻いた木、コケが付いた木を見ますと、使い物にならない木ばかりが目につきます。このままでは、山が荒れ果て木が倒れ、雨が降っても保水力が無くなり倒木や山の土が海に流れ込みます。

心ある漁師さん達は、山を守らなければ海が守れないと山に植林をされています。間伐しても金にならない。間伐費用が赤字になる時代ですので間伐もしない。山は荒れ放題なのが現状です。

この山のエネルギーを利用しないのは「もったいない」を合言葉に、現在の燃料の高騰で農家の負担が大きくなっている状況下で、色々な方々のお問い合わせが多くなり、畜糞ボイラー（鶏、豚）の製造販売をして居りました技術が利用出来ないかと、木質チップ温水ボイラーの製品化を検討し始めた次第です。

詳細は、私の思いを載せましたホームページ <http://www.motainai.info> をご参照下さい。

お問い合わせの中で、実際燃焼している所を見たいとの要望が多く、しかしながら新しい商品なので稼働中のボイラーがありません。

あえて自社内に屋外常設展示場を作りましたのも、私共の今後の活動を皆様に見て頂き、納得してお買い上げ頂く為に屋外展示場を作った次第です。

第一次オイルショックの時に、畜糞ボイラー（鶏、豚）の製造販売をして居りました経緯があり、木質チップを燃焼させる技術につきましてはクリアー出来る環境にありますので、問題無いとの判断で進めて居ります。

但し、現在は大気汚染防止法をクリアーしないと、燃焼させる事が出来ません。ばい塵発生施設の届け義務は伝熱面積10㎡以上、燃焼量は重油換算50ℓ/h以上で、これ以下の物については届出義務が要しないと解釈出来ます。

また燃料の木質チップは、燃料として製造された純粋な木質チップで、燃料として有価で購入し、燃料として使える乾燥した木質チップを使用します。熱利用が目的なのでボイラー効率80%以上などの条件がつきます。

また県条例でさらに厳しい条件がつく場合があります。岐阜県の場合は伝熱面積5㎡以下、燃焼量30kg/h以下の条件になります。

また現在進めています、森林の持ち主、チップ加工、運搬、消費者の連携グループを構築中です。連携グループが完全で無ければ長続きしないからです。

「もったいない」を合言葉に進めていますが、未知数なのが現状です。

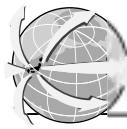
屋外に展示してありますので皆様方に見て頂き、お知恵をお借り出来ればと掲載させて頂きました。



屋外に展示してある温水ボイラー



適合した木片チップを使用



『素顔のけいざいじん5』(中部経済新聞社)より

(株)ダイニチ社長 下村尚之氏の記事をご紹介します

この度、中部経済新聞社が『素顔のけいざいじん』欄に掲載した59名の方を、『素顔のけいざいじん5』として冊子にまとめました。そこに、(株)ダイニチ社長 下村尚之氏が載っておりますのでご紹介いたします。組合研修センター1階情報交換室に下村氏の著書『アナ物語』とともに置いてありますので、興味のある方はそちらでお読み下さい。



下村尚之さん

(株)ダイニチ 代表取締役
(平成18年1月16日掲載)

チャレンジ精神こそ原動力

“盆栽”を見つめて微細加工ひらめく

「楽しむ ために 働く」。機械加工部品製造のダイニチ本社玄関にかかる“のれん”に記してある。社長の下村尚之さんのアイデアだ。お客様への感謝の心と従業員のモチベーション高揚のためという。世界初の五本指ロボットハンドの開発、髪の毛より細い0.02ミリの微細加工…。わずか従業員25人の同社は、まぎれも無い“オンリーワン”技術で常に話題を提供している。「すべては発想の転換とチャレンジ精神」と語る下村さん。転機となった43歳のあの日から始まった挑戦は止むことは無い。

プロフィール

1942年神奈川県平塚市生まれ。65年岩手大学工学部金属工学科卒業。同年日本建鐵入社。68年大日鉄工所(現ダイニチ)入社。80年から社長。

少年時代

下村さんは1942(昭和17)年4月9日、神奈川県平塚市に父・和之さんと母・幸子さんの長男として生まれた。和之さんは航空廠管轄の日本国際航空機工業で、飛行機の設計技師をしていた。終戦後に繊維機械などの加工部品・組み立てを行う大日鉄工所を創業。家族とともに岐阜市内に移り住んだ。「父は仕事に夢中で家族そろって夕食をしたこともほとんどなく、口をきいたことがなかった」

それでも「近くの境川で毎日魚取りをしたり、神社でまっくらになるまで野球やターザンごっこをした」と活発な少年時代を過ごす。

学生時代

県立岐阜高校時代は、ミッチーブームの中、軟式テニス部で汗を流した。「当時はテニスブームでもものすごい入部者がいた。夏の暑い日はプールに飛び込んで泳いだっけ」

そして、進学の時節。国立に行きたいという志望を先生に無理だ、といわれて一念発起。見事に国立岩手大学工学部に合格した。「とにかく親から離れたい、遠くへ行きたいという気持ちで勉強しました」

家業を継ぎたくなかったが、金属への興味はあり金属工学科に入学。「当時の流行歌『北上夜曲』に憧れ岩手へいったけど、鉱山の排水で北上川はヘドロが浮いていてがっかりした。ただ下宿で食べた本場のリングオはうまかった」と語る。

部活は硬式野球部に入部して東北選手権決勝まで進出したり、スキーやスケートをおぼえ、夢中になるなどスポーツマンとして活躍。「アルバイトはいろいろやった。ボート番や材木担ぎ、ドアボーイにバーテンダー…。一度やると、こる性格なのでマージャンもこのころ憶えた」

就職

◎壊れた洗濯機を分析

卒業論文は「金属の接合による拡散現象の解明」。金属加工の世界に飛び込むべく、三菱電機系列の日本建鐵に入社した。「大船にあった商品研究所に出向して、洗濯機の塗装に関する研究をした。『購入周期』というテーマで破損した洗濯機を分析し、レポートを提出するのが仕事だった」

破損の原因究明のため、あらゆる角度からモノを見るクセがついてきた、と語る。「後年経営者となってからもこの思考方法が大いに役にたった」という。

故郷へ

1968年4月、母の死をきっかけに家業を手伝ってほしいという父の手紙を受け取る。やむなく当時勤務していた舟橋から、故郷の岐阜へ。父の会社に入社した。「とにかくいやで仕方がなかった。人の面倒を見なければいけない経営者にはなりたくなくて、あのころは逃げ出すことばかり考えていた」

悶々（もんもん）とした日々を送る下村さんは、気をまぎらわすために資格取得に熱を入れた。宅地建物取引主任、建築士2級、衛生管理者免許、甲種危険物取扱主任者、公害防止管理者、労務管理士など取得した資格、免許は多岐に渡る。

「父は自分の会社を放っておいて、金属工業団地の理事長など対外的なことばかりに奔走していた。ずいぶんケンカもしました」

結婚

日本建鐵時代、福島県出身の同僚に誘われて夏の長期休暇で彼の家に泊まることになった。「そこで彼の妹である、現在の妻と知り合った」という。3年ほどの付き合いをへてゴールインしたのは、岐阜に戻った翌年だった。

「新婚当時、台風で家は停電となり、まっくらななか、私はマージャンをするために外出していて、ずいぶん心細かった、と今でも皮肉をいわれる」と笑いながら語るが、今では二人の娘も成人し、孫と遊ぶのがなによりの楽しみという。

転職

◎機械と出会い事業に光

「昭和40年代から50年代にかけての機械加工組み立ては、大変効率が悪く金回りも悪い仕事

だった。売り掛け回収の前に仕入先に支払いをすることが多く、金策に走り回っていた」

このころから、組み立て加工から、部品づくりにシフトしていく必要を感じ始めた。父から社長職を受け継いだ43歳のとき、転機が訪れた。ある日縁側で新聞を読みながら盆栽を見つめていた下村さん。「樹木を小さなサイズにする技術は、日本独自のものではないだろうか」と思ったという。

小さくして価値を高めること—これが生き残っていく道ではないか。下村さんの前に一つの方向性が見えた。

そして名古屋にある工作機械会社を見学し、同社の持つNC複合加工機の購入に踏み切った。切削、ネジきり、フライス加工、穴あけなどが一度にできるもので、高価格だった。不安そうな経理担当に「自分の求めている事業の方向性に光を照らしてくれる機械なんだ」と言い切った。

初の出番

機械を買ったが仕事はない。「複合加工機でアルミ製のシャチホコをつくり、こんな複雑な形状でも15分で加工できます、と営業に走りました」

そんな時、小ロットで複雑な部品加工に悩む同業他社に話をもち込んだ。その部品を試作したところ、わずか8分で完成。機械の性能に自信を持ち、こうした仕事を増やしていく。「当時は3時間くらいしか寝ずに、業務終了後に自分で操作して加工していた。父の創業した会社に持ち続けていた違和感も消え、これからはこういう機械を増やしていこう、と思いました。

大日鉄工所からダイニチへ。不惑の年から数年を経て、下村さんの決意は固まった。

0.02ミリ

◎髪の毛より細い穴を開けます

そんな時「小さな径」つまり穴あけ加工の受注がきた。「最初は閉口したが、引き下がるわけにいかず、穴加工について勉強を始めた」

そして専用のガンドリルマシン導入。チャレンジが始まった。やがて深穴を磨くホーニング技術にステップは進む。時代はデジタル化、高度情報化時代に突入。小さい穴加工は光ファイバー製造の機械部品や、高度医療機器部品など、多くのニーズに結びついていく。

ダイニチのPR文句は『髪の毛より細い穴が開けられます』となる。

「0.05ミリといっても分かりにくい。髪の毛より細い穴といえば、わかってもらえる」。そして大手自動車メーカーから、素材の品質テストのために、どうしても0.02ミリの穴加工をしてほしいとの依頼があった。

「新車発表前にデータが必要だが、時間が追ってきていると言われた。担当者に別室で待ってもらい、マイクロスコープで覗きながら作業をした」試行錯誤をしながら作業は続き、時間ばかりが過ぎていった。

着手して3日目、社員が「できました」と社長室に飛び込んできた時、ダイニチは微細加工技術のオンリーワンとなった。

ロボットハンド

◎これ以上ムリと言われたがあきらめきれずギア切削

1996年、岐阜大学との産学連携で人間型ロボットハンドの研究を開始した。「指を稼働させるギアの機構がネックとなり、おおかたの意見はこれ以上はムリでした。私はあきらめきれず、ギアの歯の切削を研究し現在のものにたどりつきました」

98年、試作1号機が誕生。現在も改良を加え人間の動きを滑らかにトレースする「GIFU HAND」は、医療や宇宙開発などさまざまな分野での活躍が予想される。最後まであきらめない、下村さんの挑戦が技術を発展させる。

スポーツ

◎大会を目指し練習するのが好き

スポーツマンの下村さんはトライアスロンの競技者でもある。「娘の水泳教室に付き添ったとき、自分も泳いだところ、誘われて実業団の大会に出ることになった」

その後、トライアスロンの魅力にひかれ、出場した大会では見事に完走した。「大会という目標を決めて、練習をしていくことが好き」と語る。今でも1日1時間のロードワークをかかさない。生涯現役のアスリートだ。



「楽しむために働く」とあるダイニチののれん

夢

◎楽しむため働きがいのある会社でありたい

ダイニチの社屋には「物づくり快館」の看板がある。チャレンジ・アンド・ドリームで夢を勝ち取ろうという下村さんの願いが込められている。「夢があって働きがいのある会社でありたい」と語る姿勢は、21世紀の中小企業の理想の姿かもしれない。



1996年、石川県で行われたトライアスロン珠洲大会で見事に完走

(株)ダイニチ

1948年、大日鉄工所として創業。機械加工製品製作と機械加工受託を主力とする。87年に可児市姫ヶ丘の可児工業団地に移転。90年現社名に変更。2001年に5本指ロボットハンドを開発し脚光を浴びる。02年に中小企業庁長官優良賞、「モノづくりブランドNAGOYA」受賞。本社は可児市姫ヶ丘1の33。

『素顔のけいざいじん5』より抜粋



メンタルヘルスケア

近年の御時世を反映してか、自殺者が年々増加し、年間3万人を超えてきております。

その最も大きな要因として「うつ状態」があることが明らかになってきています。その数いまや百万人にも及ぶともいわれており、会社での社員の健康管理の中でもメンタルヘルスケアが最も重要になってきたといわれています。

人は環境の変化という刺激を受けると、その刺激に適応しようと心身にいろいろ変化がおこります。この刺激をストレッサーといいます。これには気候、騒音、薬物など物理的・科学的ストレッサー以外に過労、病気、人間関係など生理的・社会的ストレッサーがあります。

これらストレッサーに対する受けとめ方は人さまざまですが、ストレッサーに対する過剰な反応が発散できず、積もり積もってくると「うつ状態」がおこり、病的要素が増してくると「うつ病」が発症してきます。

職場でのメンタルヘルス対策としては、働きやすい、明るい職場づくりに心を配ることはもちろん重要ですが、従業員の変化を早期に発見し、偏見から対象者を一人ぼっちにすることなく、やさしく接し相談に乗ってあげることが大事だと思います。

一度、自分の身の回りを見直して下さい。以前と比べて、周りの目を気にする人、日によって気分の変化が大きい人、仕事に対する意欲が落ちている人、会話に気持ちがこもらない人、酒、タバコの量が増えた人、懇親会などへの参加を避けることが多くなった人。こんな人は見当たりませんか。

やさしく声をかけ、産業医に早めに相談して下さい。ひとつのキッカケとして、表のストレスチェックを皆でやってみたらいかがでしょう。

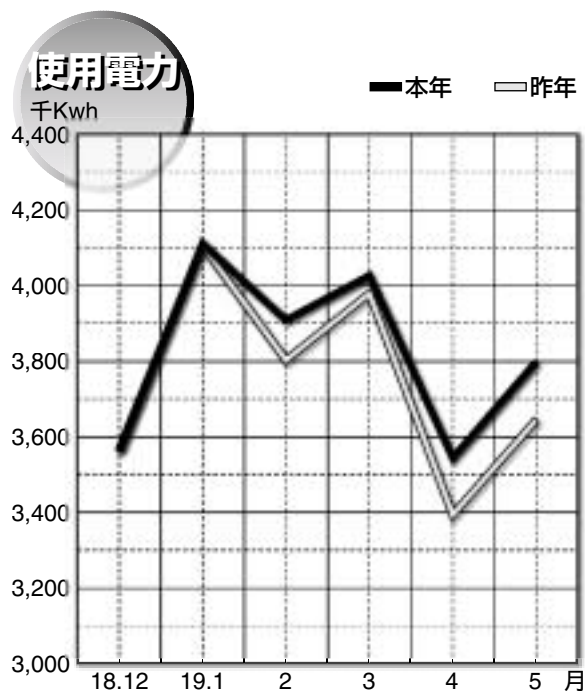
「はい」は1点、「どちらでもない」0.5点で計算して下さい。2.から17.で12点以上の方は、かなり精神的ストレスが大きい。18.から20.で7点以上の方は身体的ストレスが大きいと考えられます。27.から30.で2点以上あれば、ストレス解消する手段をもっているといえますが、そうでない人は、早めに対応して下さい。

安藤内科医の記事より転載

質 問 項 目	はい	どちらでもない	いいえ	質 問 項 目	はい	どちらでもない	いいえ
1.休養をとりたいと考えるようになった。				16.会話をする時に感情がともなわなくなった。			
2.新聞やテレビなどの健康に関する情報が異常なほど気になる。				17.映画を見たり本を読んでも感動しなくなった。			
3.周囲の人々による自分の評価が気になるようになった。				18.手足が冷えたり熱くなったりすることが多くなった。			
4.ささいな事にイライラしたり腹が立つようになった。				19.下痢や便秘になることが多くなった。			
5.日によって体調や気分の変化が大きくなった。				20.体がだるく疲れやすくなった。			
6.じょうずに気分転換ができなくなった。				21.肩や背中、腰などに痛みやしこりを感じるようになった。			
7.わけもなく不安な気分がいつぱいになることがある。				22.頭痛や頭がスッキリしないことが多くなった。			
8.取り越し苦労をすることが多くなった。				23.目が疲れやすくなったり、かすんだりするようになった。			
9.判断力が低下していると感じることが多くなった。				24.食欲が大幅に落ちたり、あるいは過食になることがある。			
10.毎日の生活に充実感が得られなくなった。				25.十分な睡眠がとれなくなった。			
11.時間に追われているように思われる。				26.体重の急激な増加または減少が最近あった。			
12.職場や家庭で大きなストレスとなるできごとがあった。				27.問題の原因を考えて、解決に向けて行動できる。			
13.ときどき生きているのが嫌になることがある。				28.あなたの行動や考えを賛成し支持してくれる人がいる。			
14.周囲がわずらわしいと感じることがある。				29.本当の気持ちを打ち明けることができる人がいる。			
15.仕事(勉強、家事)に対し意欲的でなくなった。				30.会うと心が落ちつき安心できる人がいる。			



平成19年5月分電力使用状況



電気は正しく使いましょう！！

気温上昇による事故の防止

電気にとっては暑さが大変苦手です。電気配線・変圧器・モーター等電気設備が熱に弱いのは絶縁が高温になると低下し、また酸化・熱分解などにより絶縁が破壊されるからです。電気機器の使用は温度によって制限される事が多く一般的には120度とされています。

温度上昇を少なくするには、発生する熱を少なくする事と発生した熱をいかに逃がすか冷却にかかってきます。

たとえば変圧器の場合は、鉄損による発熱は負荷に関係なく一定ですが銅損による発熱は負荷電流の2乗に比例します。空調負荷のかかる夏場が外気温の上昇とともに悪条件になります。生産活動に不可欠な変圧器を守るため日常巡視で特に温度監視や負荷電流の監視に注意する必要があります。

熱を逃がす方法については、通風を良くするよう換気扇を付けたり直射日光が当たるキュービクルには日除けを設けるなどの工夫により効果を上げることができます。

6 JUNE

16/土	『組合休日』
17/日	
18/月	月例会、役員会
19/火	団地G 各務原ろばた会総会 岐阜県機械金属協会通常総会・理事会
20/水	雇用対策懇談会 岐阜県中小企業団体中央会役員研修会
21/木	
22/金	青年部研修会(17:00~19:00)
23/土	『組合休日』
24/日	
25/月	
26/火	各務原商工会議所通常議員総会並びに懇談会
27/水	
28/木	団地ニュース編集委員会 スイートパレー推進協議会総会&後援会
29/金	
30/土	『組合休日』

7 JULY

1/日	
2/月	安全大会
3/火	星野鉄夫氏韓国国家勲章を祝う会 青年部役員会
4/水	
5/木	中金会
6/金	
7/土	『組合休日』
8/日	
9/月	
10/火	
11/水	
12/木	
13/金	
14/土	『組合休日』
15/日	

第46期金属団地通常総会記念ゴルフ

5月26日(土) 岐阜北カントリー倶楽部(ダブルペリア方式)

優勝 三島 繁 樹(三島精器) 2位 山村 容 弘(山村製作所) 3位 岩 井 章(三星工業)

5月度金属団地ゴルフ会

5月26日(土) 岐阜北カントリー倶楽部

優勝 伊藤 謹 司(伊藤製作所) 2位 小沢 章 博(団地組合) 3位 岩 井 章(三星工業)